

株式会社豊田自動織機

パフォーマンスデータ2025(環境編)

発行 2025年8月

改訂 ー

目次

■環境負荷フロー	P.1
■脱炭素社会構築に向けた活動	P.2
・エネルギー購入量の推移	
・事業所からの温室効果ガス排出量の推移	
・サプライチェーンからの温室効果ガス排出量の推移	
・事業別の排出量の推移	
■循環型社会構築に向けた活動	P.6
・水ストレス地域に立地する拠点数	
・水資源量(取水量、排水量、消費量)	
・汚濁負荷物質量	
・原材料投入量	
・廃棄物排出量	
■その他パフォーマンスデータ	P.8
・大気汚染物質	
・化学物質	
・土壌・地下水	
・振動騒音	
・環境異常件数	
■環境会計	P.9
■パフォーマンスデータ算定基準	P.10

■環境負荷フロー

INPUT

エネルギー(連結)	
エネルギー投入量	20,233 TJ
電力	1,444,223 MWh
都市ガス	84,044 千Nm ³
LPG	3,855 t
石油製品	32,909 kL
石炭製品	7,001 t
液化天然ガス	2,060 t
水(連結)	
水使用量	4,337 千m ³
原材料(連結)	
原材料投入量	1,058,623 t
化学物質(単独)	
PRTR法対象物質	5,652 t



OUTPUT

大気	
CO ₂ 排出量	808,201 t-CO ₂
CO ₂ 以外の温室効果ガス	1,938 t-CO _{2e}
物流CO ₂	14,885 t-CO ₂
NOx(窒素酸化物)	199 t
SOx(硫黄酸化物)	0.97 t
VOC(揮発性有機化合物)	1,277 t
水域(連結)	
水質汚濁物質排出量	21 t
排水処理放流量	3,116 千m ³
廃棄物(連結)	
廃棄物排出量	9,527 t
化学物質(単独)	
PRTR法対象物質排出移動量	660 t

■脱炭素社会構築に向けた活動

1. エネルギー購入量の推移

GRI 302-1

1) エネルギー購入量_燃料 [グローバル]

エネルギー種別		単位	2021* ¹	2023	2024	換算係数
化石燃料	都市ガス	GJ	4,530,288	3,812,525	3,695,118	地球温暖化対策の推進 に関する法律にて設定 された換算係数
	液化石油ガス(LPG)*		258,462	192,246	193,190	
	コークス		144,570	117,753	122,368	
	石油コークス		73,631	47,628	45,163	
	無煙炭		35,385	34,246	40,431	
	ガソリン		641,974	572,872	439,358	
	軽油		790,604	765,119	745,482	
	液化天然ガス(LNG)		110,057	107,154	112,686	
	重油		2,275	1,323	292	
	灯油		3,618	1,432	1,802	
非化石燃料	バイオマス、ガス		17,542	18,056	18,509	
合計			6,608,405	5,670,354	5,414,399	

2) エネルギー購入量_電力等 [グローバル]

エネルギー種別		単位	2021* ¹	2023	2024	換算係数
電力		GJ	14,613,502	14,770,343	14,398,903	地球温暖化対策の推進 に関する法律にて設定 された換算係数
	内非化石燃料由来		1,947,209	3,373,011	3,807,325	
蒸気			84,506	82,191	67,697	
	内非化石燃料由来		0	0	0	

GRI 302-3

3) エネルギー消費量原単位の推移 [グローバル]

	単位	2021* ¹	2023	2024
エネルギー原単位	MWh/百万円	8.1	5.5	5.0

GRI 302-4

4) 削減されたエネルギー [グローバル]

	単位	2021* ¹	2023	2024
削減されたエネルギー量	MWh	28,127	32,402	26,968

*1・・・SBTi認定目標(Scope1,2)の基準年度

5) 再生可能エネルギーの総消費量 [グローバル]

	単位	2021* ¹	2023	2024
再生可能エネルギーの総消費量	GJ	1,964,751	3,393,471	3,828,381

2. 事業所からの温室効果ガス排出量の推移

GRI 305-1

1) 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス) [グローバル]

	単位	2021* ¹	2023	2024	排出係数
Scope1	t-CO ₂	366,621	320,812	306,437	環境省「温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度」算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧(一部各地域の係数を利用)

GRI 305-2

2) 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出_マーケットベース [グローバル]

		単位	2021* ¹	2023	2024	排出係数情報源
SCOPE2	購入電力	t-CO ₂	643,803	614,652	632,898	電力会社実績値
マーケットベース	蒸気		0	2,049	1,771	熱供給会社実績値
合計			643,803	616,701	634,669	

3) 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出_ロケーションベース [グローバル]

		単位	2021* ¹	2023	2024	排出係数情報源
SCOPE2	購入電力	t-CO ₂	641,701	679,365	651,419	World Energy Outlook Report
ロケーションベース	蒸気		0	457	432	各国公表値
合計			684,424	686,684	657,449	

4) 生物系由来からの排出 [グローバル]

	単位	2021* ¹	2023	2024	排出係数	排出係数情報源
バイオガス	t-CO ₂	2,220	2,285	2,342	54,600 kg-CO ₂ /GJ	2006 IPCC Guidelines for National Greenhouse Gas Inventoriesを参照

*1・・・SBTi認定目標(Scope1,2)の基準年度

5) CO2以外の温室効果ガス排出 [単独]

地球温暖化対策の推進に関する法律施行令に準ずる

	単位	2021* ¹	2023	2024	排出係数
CH ₄	t-CO _{2e}	2,342	1,571	1,515	「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」 に定める地球温暖化係数を使用
N ₂ O		466	851	826	
HFCs		33	1,198	1,938	
PFCs		0	0	0	
SF ₆		375	244	53	
NF ₃		0	0	0	

3. サプライチェーン排出量の推移

GRI 305-3

1) サプライチェーン排出量の推移

*SBTi認定目標の基準年度

		単位	2018* ²	2023	2024	備考
Scope3	カテゴリー1	t-CO ₂	3,932,844	4,628,994	3,237,423	
	カテゴリー2		429,984	384,285	364,938	
	カテゴリー3		190,277	136,310	169,017	
	カテゴリー4		197,202	245,861	60,972	
	カテゴリー5		2,112	2,055	29,894	算定手順を見直し(2024年度~)
	カテゴリー6		10,073	11,602	12,344	
	カテゴリー7		36,141	41,575	44,287	
	カテゴリー8		—	—	—	リース設備の使用に伴う排出量はScope1,2に計上
	カテゴリー9		—	—	—	カテゴリー4と明確に分離が困難なためカテゴリー4に計上
	カテゴリー10		1,318	1,310	2,584	最終製品や自動車部品を販売しており、極めて少量
	カテゴリー11		31,288,196	31,782,152	28,359,636	
	カテゴリー12		35,076	41,670	38,682	
	カテゴリー13		—	—	—	カテゴリー11に計上
	カテゴリー14		非該当	非該当	非該当	フランチャイズ事業なし
	カテゴリー15		1,314,316	1,042,592	905,925	
合計		37,437,541	38,318,407	33,225,701		

*1・・・SBTi認定目標(Scope1,2)の基準年度

*2・・・SBTi認定目標(Scope3 カテゴリー11)の基準年度

4. 事業別の温室効果ガス排出量の推移

GRI 305-1

1) 事業所からの温室効果ガス排出量の推移(事業部別) [グローバル]

	単位	2021* ¹	2023	2024
産業車両関連事業	t-CO ₂	144,387	139,791	125,457
繊維機械事業		4,128	2,847	2,615
自動車関連事業		189,336	149,947	151,909
その他		28,770	28,227	26,457
合計		366,621	320,812	306,437

GRI 305-2

2) 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出の推移(事業部別)_マーケットベース [グローバル]

	単位	2021* ¹	2023	2024
産業車両関連事業	t-CO ₂	148,018	124,443	126,437
繊維機械事業		4,258	2,639	5,547
自動車関連事業		435,988	376,797	360,452
その他		7,447	6,816	9,328
合計		595,712	510,695	501,764

3) 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出の推移(事業部別)_ロケーションベース [グローバル]

	単位	2021* ¹	2023	2024
産業車両関連事業	t-CO ₂	160,012	147,780	137,700
繊維機械事業		6,651	6,806	8,569
自動車関連事業		510,152	524,138	500,909
その他		7,609	7,961	10,271
合計		684,424	686,684	657,449

*1・・・SBTi認定目標(Scope1,2)の基準年度

■循環型社会構築に向けた活動

1. 水ストレス地域の拠点立地状況と水資源取水量・排水量の推移

GRI303-1

1) 水ストレス地域の拠点立地状況 [グローバル]

	単位	5	4	3	2	1	評価ツール
水ストレス地域に立地する拠点	拠点	0	5	1	12	42	WWF Water Risk Filter

	単位	高リスク	評価方法
当社水リスク評価による高リスク拠点	拠点	4	パフォーマンスデータ算定基準に記載

GRI303-3

GRI303-4

GRI303-5

2) 水資源量 [グローバル]

	単位	全地域			ストレス地域(ストレス評価4以上)		
		2022	2023	2024	2022	2023	2024
取水量	千m ³	4,654	4,718	4,337	114	107	97
(内訳) i. 地表水		24	24	23	11	9	8
ii. 地下水		964	914	881	0	0	0
iii. 海水		0	0	0	0	0	0
iv. 生産随伴水		0	0	0	0	0	0
v. 第三者の水		3,666	3,780	3,432	102	99	89
排水量	千m ³	3,170	3,287	3,116	47	47	51
(内訳) i. 地表水		1,336	1,364	1,341	0	0	0
ii. 地下水		0	0	0	0	0	0
iii. 海水		212	281	235	0	0	0
iv. 第三者の水		1,622	1,642	1,540	47	47	51
消費量		1,484	1,431	1,221	66	60	46

3) 汚濁負荷物質量 [グローバル]

[単独]	単位	2022	2023	2024
COD	t	10	12	11
T-N		8	10	10
T-P		1	2	0.2

GRI 301-1

2. 原材料投入量 [グローバル]

		単位	2022	2023	2024
原材料投入量	金属類	t	1,309,386	851,682	1,053,731
	非金属類		129,973	82,267	103,190

GRI 306-3

3. 廃棄物発生量 [グローバル]

GRI 306-4

1) 処分作業別排出量

GRI 306-5

処分作業別	単位	2022	2023	2024
逆有償リサイクル	t	99,216	114,149	95,770
焼却		2,407	2,540	1,555
埋め立て		10,915	10,964	9,527
合計		112,538	127,653	106,851
リサイクル率		88%	89%	90%

2) 廃棄物種類別排出量

種類別	単位	2022	2023	2024
非有害廃棄物	t	107,375	122,492	102,280
有害廃棄物		5,163	5,162	4,572

GRI 305-7

■その他パフォーマンスデータ

1. 大気汚染物質 [グローバル]

	単位	2022	2023	2024
NOx排出量	t	225	205	199
SOx排出量		1.4	1.2	1.0
VOC(揮発性有機化合物)		1,275	1,319	1,277

2. 化学物質 [単独]

	単位	2022	2023	2024
PRTR法対象物質取扱量	t	2,908	6,392	5,652
PRTR法対象物質排出移動量		800	1,071	660

3. 土壌・地下水 [グローバル]

[→ニュースリリースへリンク](#)

4. 振動騒音 [グローバル]

2024年度報告事項なし

GRI 307-1

5. 環境異常 [グローバル]

	単位	2022	2023	2024
環境異常発生件数	件	1	1	1

■環境会計

集計範囲：株式会社豊田自動織機

1. 環境保全コスト

(百万円)

		単位	2022		2023		2024	
			投資	費用	投資	費用	投資	費用
事業エリア内コスト	公害防止コスト	百万円	2,132	343	2,729	318	3,439	310
	地球環境保全コスト		4,008	5,762	3,059	4,000	3,953	3,964
	資源循環コスト		514	48	300	50	227	50
上・下流コスト	0		357	0	299	0	245	
管理活動コスト	35		77	226	90	50	93	
研究開発コスト	5		5,594	6	6,431	6	6,770	
社会活動コスト	0		71	0	69	0	73	
環境損傷対応コスト	27		0	30	0	0	0	
合計			6,721	12,251	6,350	11,256	7,676	11,504
				18,971		17,605		19,180

2. 環境保全対策に伴う経済効果

		単位	2022	2023	2024
収益	廃棄物リサイクル売却益	百万円	12,234	12,292	14,292
費用節減	エネルギー費用の削減		0	3,803	170
合計			12,234	16,095	14,463

当社では、環境パフォーマンスデータにおける透明性・正確性を確保するために、SGSジャパン株式会社による第三者検証を受審しています。本パフォーマンスデータ2025(環境編)に掲載されている指標のうち、★記載情報について保証を受けました。

■パフォーマンスデータ算定基準

<集計対象範囲>

統合報告書の範囲に準ずる。但し、一部除外あり

<除外範囲>

脱炭素社会構築に向けた活動：一部の非生産会社(当社連結範囲のGHG排出量の約4%)

その他項目：非生産会社

<集計期間>

2024年4月1日 ～ 2025年3月31日

<参考にした基準、ガイダンス>

◆The Greenhouse Gas Protocol

- ・ Corporate Standard
- ・ Scope 2 Guidance
- ・ Corporate Value Chain (Scope 3) Standard
- ・ Scope 3 Calculation Guidance

◆環境省・経済産業省

- ・ サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン
- ・ サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量等算出のための排出原単位データベース
- ・ IDEAデータベース
- ・ PRTR算出マニュアル
- ・ 環境会計ガイドライン

◆社内基準類

- ・ 豊田自動織機技術標準
- ・ 環境パフォーマンス指標集計要領(排出係数含)
- ・ 工場CO2ゼロ達成に向けた『CO2排出量算出と活動管理』ガイドライン
- ・ 物流に係るCO2排出量算定要領

<算定方法>

1. 温室効果ガス排出量

GRI305-1

1) Scope1、Scope2

GRI305-2

Scope1：自社で燃焼した燃料の購入量に排出原単位を乗じて算出。原単位は環境省 温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度における算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧を利用

Scope2_ロケーションベース：自社が使用した電気や蒸気の購入量に排出係数を乗じて算出。排出係数はIEA Emission Factorを参照*1

Scope2_マーケットベース：自社が使用した電気や蒸気の購入量に排出係数を乗じて算出。排出係数は各拠点が契約する供給業者のものを利用*1

*1：Scope2の算定に使用する排出係数は、各活動年度の2年前のものを使用

GRI305-3

2) Scope3

算定方法は環境省・経済産業省発行の「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン」による

カテゴリー	算定方法
1. 購入した製品・サービス	購入した材料別質量×各材料製造原単位*2
2. 資本財	固定資産取得額×排出原単位*2
3. Scope1,2に含まれない 燃料及びエネルギー関連活動	燃料別購入量×排出原単位*2
4. 輸送、配送(上流)	輸送重量×走行距離×燃費*3
5. 事業から出る廃棄物	廃棄物排出量×排出原単位*2
6. 出張	従業員数×排出原単位*2
7. 雇用者の通勤	従業員数(都市区分別)×稼働日数×排出原単位*2
8. リース資産(上流)	明確な分離が困難なためScope1,2に含めて報告
9. 輸送、配送(下流)	カテゴリー4,9を明確に分離することが困難の為、カテゴリー4に含めて報告
10. 販売した製品の加工	自動車部品生産台数×排出原単位*4
11. 販売した製品の使用	各製品の使用に伴う燃費等をもとに、耐用年数使用されると仮定し算出
12. 販売した製品の廃棄	各製品の種別廃棄物排出量×原単位*2
13. リース資産(下流)	カテゴリー11に含めて報告
15. 投資	投資先における報告年度のScope1,2×株式保有割合

*2：環境省_サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース

*3：環境省発行の特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガス排出量の算定に関する省令

*4：社内で測定した独自の原単位

GRI303-1
 GRI303-3
 GRI303-4
 GRI303-5

2. 水資源

1) 水リスク評価方法

当社では、生産拠点における水資源に関するリスクを以下のプロセスで評価

- (1) 国際的な水リスク評価ツール(WWF Water RiskFilter)で地理的なリスクを評価
- (2) 各拠点の法規制や生産工程などの情報を元に各国・各地域における潜在的なリスクを評価
- (3) リスクが高いと評価した拠点を対象にコミュニケーションをとり総合的なリスクを評価*

*各拠点の水使用状況、効率的な水の利用状況(排水リサイクル、雨水利用)や水・施設の管理状況などから総合的に判断

2) 水資源データ

	算定方法
取水量	地表水、地下水、海水、あるいは第三者から取り出された水の合計
排水量	地表水、地下水、海水、あるいは第三者に放出された排水の合計
消費量	取水量と排水量の差

3) 取水源・排水先

	算定方法	
	取水源別	排水先別
地表水	生産等で利用するために採取した雨水量の合計	河川、湖沼等へ排水した水量の合計
地下水	生産等で利用するために汲み上げた地下水量の合計	地下へ排水した水量の合計
海水	生産等で利用するために汲み上げた海水量の合計	海域へ排水した水量の合計
生産随伴水	生産活動に伴い発生する水量の合計	—
第三者の水	市水、工業用水等第三者から購入した水量の合計	下水道等第三者へ排水した水量の合計

4) 汚濁負荷物質量

	算定方法
COD	排水中に含まれる化学的酸素要求量(COD)の濃度に、排水量を乗じて算出。濃度測定義務のある拠点のみを集計
T-N	排水中に含まれる全窒素の濃度に、排水量を乗じて算出。濃度測定義務のある拠点のみを合計
T-P	排水中に含まれる全リンの濃度に、排水量を乗じて算出。濃度測定義務のある拠点のみを合計

3. 原材料投入量

		算定方法
原材料投入量	金属類	製品の製造過程で使用される原材料のうち金属類の重量の合計
	非金属類	製品の製造過程で使用される原材料のうち非金属類の重量の合計

4. 廃棄物排出量

		算定方法
逆有償リサイクル		廃棄物のうち、社外でリサイクルされ再利用されるものの重量の合計
焼却		廃棄物のうち、焼却処理され残差が埋立処理されるものの重量の合計
埋め立て		廃棄物のうち、直接埋立処理されるものの重量の合計
リサイクル率		廃棄物のうち、リサイクルされるものの割合
非有害廃棄物		廃棄物のうち、国内法により有害ではないとされるものの重量の合計
有害廃棄物		廃棄物のうち、国内法により有害であるとされるものの重量の合計

4. その他パフォーマンスデータ

1) 大気汚染物質

	算定方法
NOx排出量	排ガス中に含まれる窒素酸化物の濃度に、排ガス量を乗じて算出
SOx排出量	排ガス中に含まれる硫黄酸化物の濃度に、排ガス量を乗じて算出
VOC(揮発性有機化合物)	VOCを含有する資材・副資材の購入量に、原単位を乗じて算出

2) 化学物質

	算定方法
PRTR法対象物質取扱量	対象物質を含有する資材・副資材の購入量に、その含有率を乗じたものと社内で生成された量の合計
PRTR法排出移動量	対象物質取扱量に排出移動係数を乗じて算出

4) 環境異常

	定義
環境異常発生件数	重大な生産環境法令違反で地域住民や生態系への影響が発生した件数